



第11号

(2010年) 平成22年1月

発行・編集/改革・緑新  
 長野県庁県議会棟内(026)232-0087  
 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
 http://www.kaikaku-ryokushin.com

## 継続的な経済・雇用対策で 県民生活の安定・向上を

11月27日から12月14日までの日程で開かれた11月定例県議会が閉会しました。一般会計11月補正予算は153億6021万7千円等、予算案4件、長野県立病院条例を廃止する条例案や県職員の給与改正条例案など条例案12件、地方独立行政法人長野県立病院機構中期目標の制定について等、事件案14件、平成20年度決算の認定について、人事委員会委員の選任についての人事案1件をすべて可決しました。

本会議一般質問では、国が事業仕分け等の方法を用いて、予算編成を行うことによる県財政への影響、また財政運営や新年度予算について、さらに厳しい経済情勢をふまえて今後の経済対策や雇用対策について、活発な議論が行われました。

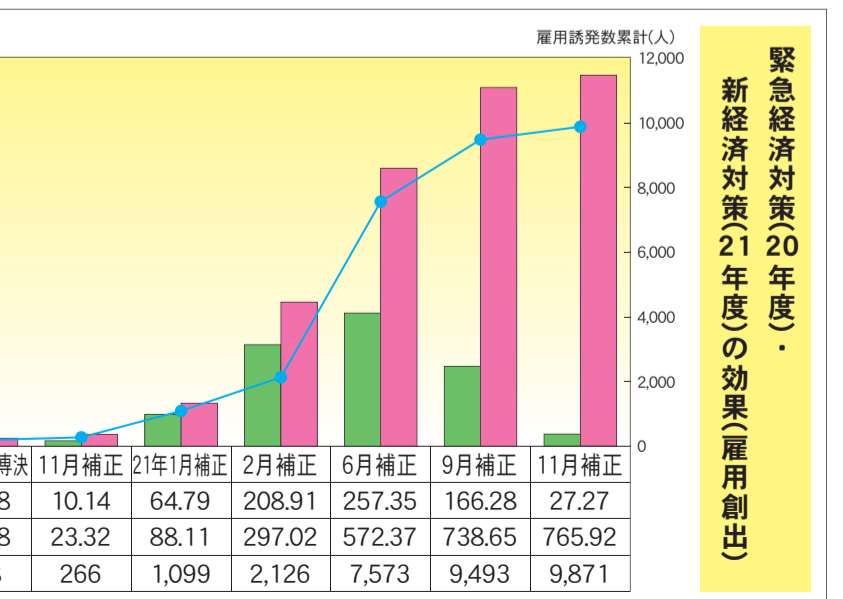
長野県は切れ目のない経済対策に取り組んできました。平成20年10月より21年2月補正予算までの長野県の緊急経済対策は、予算総額約297億円に対して、生産誘発額約273億円となり、雇用者数2126人を生み出しました。(下グラフ参照)

昨年10月14日茅野市で開催した諏訪地域の対話集会では、諏訪湖浄化、リニア中央新幹線等、様々なご意見を頂きました。頂いたご意見に対してそれらの取組状況を報告します。

今議会一般質問で①諏訪湖浄化に関して「諏訪湖漁業の再生について」として野沢議員が、②選挙投票時間の短縮に

## 対話集会での意見を県政へ

関し森田議員が、③失業対策に「雇用対策について」、更に買い手市場となっている「ハローワークの対応について」として松山議員が対応を求めました。また不登校、鳥獣被害等については対応する常任委員会、リニア中央新幹線については公共交通特別委員会では質疑を行いました。



緊急経済対策(20年度)・新経済対策(21年度)の効果(雇用創出)



▲会派室にて

(松本市) 下沢順一郎  
 (上田市・小県郡) 下村 恭  
 (茅野市・富士見町・原村) 松山 孝志  
 (下伊那郡) 森田 恒雄  
 (長野市) 竹内 久幸  
 (岡谷市・下諏訪町) 野澤 徹司  
 (長野市) 倉田 竜彦  
 (飯田市) 小島 康晴  
 (佐久市・北佐久郡) 寺島 義幸  
 (長野市) 高島 陽子

今年も会派一同がんばります！

### 代表年頭ごあいさつ

長野県議会 改革・緑新代表 倉田竜彦

明けましておめでとうございます。県議会「改革・緑新」を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、百年に一度という不況の中、県政においても昨年度の臨時議会から新経済対策が持続的に執行され、昨年12月補正を含め七百四十二億円、生産誘発額一千二百億円となりました。しかし、中小企業の経営は引き続き厳しさを増しており、雇用問題も先行きが見えない状況となっております。

昨年八月の総選挙において五十年にわたって続いた自民党政権が国民の「政権交代」の強い思いが実現し民主党中心の政権が樹立されました。

民主党政権は、一番底の不況にならぬよう七兆二千億円の補正予算を組むとともに国民に開かれた政権として事業仕分けをはじめ官僚主導から政治主導へ様々な改革を進めています。

私達「改革・緑新」は、昨年も県民との対話集会を開き、また各定例会での質問を通じ県政要望の実現を目指して活動をしてまいりました。

本年も民主党政権を支えつつ、県政に対しては是々非々の立場から建設的提言を行ないます。あたたかいご理解とご支援をよろしく願っています。

## 給与改定条例案を可決

一時金の削減0.7%

この議案は、県職員のボーナスについて、国の人事院勧告が0.35ヶ月削減であったのに対し、本県は0.7ヶ月削減という突出した内容であり、職員組合との合意がなされないまま、議会の判断に委ねるとして提案されました。

緊急経済対策との整合性等について質しました。その委員会の中で、人事委員会委員長が、地方公務員法の規定に反し「今年のところは、国とか他府県のことは反映しないで勧告した」と答弁をし、審議が中断する事態となりました。

結局、同委員長の辞任と釈明書による発言の撤回という異例な対応により、原案どおり可決しました。



# 小島康晴の 県政レポート

VOL 11

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388



## 11月県議会

### 条件の不利なところにより行政の光を 持ち時間11分、5項目を駆け足で

一般質問

今議会はいわば予算編成の「前哨戦」であり、弱いところ、低いところ、小さいところ、遠いところ、そういう条件が不利なところにより行政の光をしっかりと当てることができ、条件のいいところにも当然光が当たっていく。そしてそれが安心・安全の地域社会の実現につながっていくということに念頭に、夢と希望が湧く予算を編成するよう強く訴えました。

### 新年度予算編成の 基本方針

【小島議員】昨年「行政として本来必要な手だてを尽くすべきことについて必ずしも十分手が届いていないと言えない」と答弁されたが、今回の予算編成で特に留意している点は何か。

【村井知事】「有識者」も加わる第三者機関によって政策評価を行い、次の予算に反映させるといふ仕組みができており、当面はこの仕組みを活用していく。

### 補助のあり方の 見直し

【小島議員】政権交代により、団体等を経由して間接的に支援するか、直接県民に支援するか論議されている。県において

【総務部長】事業の目的・種類によって自ずと性質が異なることから、間接補助・直接補助という形態のみを捉えて評価することは一律にはできない。

### 元気づくり 支援金の拡充を

【小島議員】使い勝手の良い補助金として評価が高い。シーリングの対象とせず、一層の拡充を図るべきである。

【総務部長】今後の予算編成の中で総合的に判断して決定していく。

### へき地級地の 見直し

【小島議員】へき地に勤

### 空港問題で前原大臣に要請

10月13日、正副議長と公共交通対策特別委員会の正副委員長で、まさに「時の人」前原国土交通大臣を訪ね、「信州まつもと空港の定期路線の存続に関する要望書」を提出しました。余談ですが、懇談の中で、私が「飯田から高速バスで4時間かけて来ました」と申ししたところ、大臣

は「でも飯田は今度リニアが通るところですよ」と答えられました。同特別委員会では、今



前原大臣と



意見書を提案

議会で、「地域公共交通支援策の拡充」と「新幹線並行在来線への支援の拡充」を求める2つの意見書を採択しました。

### 若年脳損傷者 への支援

【教育長】様々な角度から検討しており、今後の国の動向を十分注視し、適切に対処したい。

【小島議員】該当事者の皆さんの声を聞くと、支援策はなお十分のことである。実状をよく調査し、支援するべきではないか。

【社会部長】障害者総合支援センターや4箇所の拠点病院などの窓口相談にみえる方の声を改めてよく聞き対応を検討したい。

### 新型インフル エンザへの対応

【小島議員】予防接種において、国、県、市町村と医師会等との連携の状況と今後の課題は何か。

【衛生部長】今回の予防接種は国が実施主体で、国からの委託を受けた個々の医療機関が接種を行っている。県では、県民が

### 県立病院の地方 独立行政法人化

【小島議員】「中期目標」において、特に県民にアピールしたい点は何か。

【病院事業局長】医療環境の変化に即応できる組織として機能し、経営の自由度を活かして業務運営の改善に取り組み、研修制度の充実などにより人材を確保し、質の高い医療が提供できることである。

### 県立病院 廃止条例案を可決



私はこの件を昨年度の衛生員会や今年度の一般質問(3回連続)で取り上げ、阿南病院の存続・充実をはじめ諸課題について県の姿勢を質してきました。新しい法人による運営には期待とともに不安もあります。ある意味ではこれから本番です。しっかりと見守っていかねばなりません。

### 年頭のごあいさつ

あけましておめでとございます。旧年中は大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

県政報告11号をお届けします。昨年は、本会議での一般質問やともに副委員長を務める農政林務委員会と公共交通対策特別委員会などの議会活動、地域の実情などお聞きする現地調査、また、公約であります「県政報告会」等に鋭意取り組んで参りました。

政権交代した国政の状況に対応しながら、本年も「県政を身近に」の初心を忘れずがんばって参ります。引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

今年一年の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

県議会議員 小島 康晴

一般質問する小島康晴

(公職選挙法により、飯田市内への年賀状は欠かさせていただきます)

### 森林県・高知に学ぶ

農政林務委員会の県外調査で高知県を訪ねました。

全国に先駆けて導入した森林税を活かした森林整備の現場や森林組合の取り組み、特産のゆずを柱にした村おこしで有名な馬路村の取り組み、南国市の市をあげた食育推進の取り組みなど、大変参考になりました。



整備された森林で 馬路村の取り組みを聞く

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。  
**長野県議会 改革・緑新**  
〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP://www.kaikaku-ryokushin.com  
E-mail:kaikaku-ryokusin@grace.ocn.ne.jp